

歴民だより

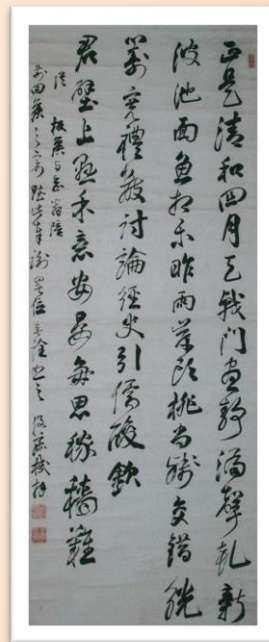
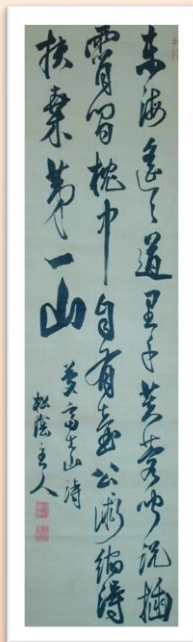
歴史民俗資料館

令和2年度 5月号 No.79

郷土の先人紹介

江戸時代の漢詩人

ごとうしょういん
後藤松陰



後藤松陰は、寛政9年(1797年)1月8日森部村後藤玄中ごとうげんちゅうの二男として生まれ、幼少の頃から神童と称されました。

16歳の時には、大垣の儒学者、菱田毅齊ひしだきさいに学びました。その後、京都に上がり、文化12年(1815年)正月、頼山陽らいさんよう ※1の門に入り高弟となり、大阪に塾を開いて英才の指導にあたりました。

▲松陰の書幅(文字の書かれた掛け軸)

元治元年(1864年)10月9日68才で病没し、大阪北区の天徳寺に葬られました。生涯、多くの著書を残し、書幅しょぶくは町文化財に指定されています。

※1 頼山陽らいさんよう・・・江戸時代のベストセラー「日本外史」の著者で、天皇を尊び外敵を撃退しようとする思想「尊王攘夷そんのうじょうい」を作りあげた。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515